

衆議院議員 柿沢未途 (かきざわ みと)



■略歴

- 1971年1月 ベルギーで生まれる(父・柿沢弘治の赴任先)
- 1989年3月 麻布高等学校卒業
- 1993年3月 東京大学法学部卒業
- 1995年4月 NHKに記者として入局。
長野放送局に勤務し、長野オリンピック・パラリンピックの報道に携わる。
- 2001年6月 東京都議会議員選挙に江東区選挙区から無所属で出馬し、初当選。
- 2009年8月 第45回衆議院議員総選挙にみんなの党公認で東京15区から出馬
比例東京ブロックで初当選。党政調副会長、国対副委員長。
- 2012年12月 第46回衆議院議員総選挙にて、東京15区・小選挙区で2期目の当選
- 2013年12月 結いの党 結党にともない、政調会長に就任。
- 2014年9月 維新の党 結党。政調会長に就任。
- 2014年12月 第47回衆議院議員総選挙にて、東京15区・小選挙区で3期目の当選
- 2015年5月 維新の党 幹事長に就任。
- 2016年1月 衆議院予算委員会理事。
- 2016年9月 民進党役員室長
- 現 在 衆議院国家基本政策委員会理事(2017年8月23日現在)

■議員活動

- ◎2009年初当選以降の1期目3年3か月で、全国国会議員の中でナンバーワンの国会質問回数(本会議・委員会)、260回以上を記録。
- ◎緩和ケアを主とするターミナルケア(終末期医療・看護)の医療制度改革、現行の年金制度を賦課方式から積立方式へと移行する年金制度改革など、社会保障を中心とした問題に取り組むことを自身の政策テーマとしている他、地域主権型道州制の導入を目指し大阪都構想関連法案の提出に積極的に取り組むなど、問題を選ぶことのない“オールラウンダー”の国会議員として「投げられたボールはすべて拾う」ことを信条にしている。
- ◎2014年4月には、NPO法人万年野党の第三者評価で、国会質問回数★★★★と質問力評価★★★★の2部門ダブル3つ星を受賞。2015年2月、総合部門で3つ目の3つ星★★★★評価を、2016年9月、190国会部門で4つ目の3つ星★★★★評価を受賞。
- ◎文藝春秋2016年新春号で、「日本を元気にする逸材125人」に選出される。

【スポーツ】ラグビー、ラクロス、ジョギング

【趣味】競馬予想(フジテレビ・カルトQでの優勝経験あり)、落語(立川志らく)

【音楽】レッド・ツェッペリン、岡林信康

【人物】高杉晋作

【言葉】本来無一物

【特技】暗記